



くるさきだより

鳴門市 黒崎小学校 校長 猪子 研司
No. 3 令和4年6月1日(水)

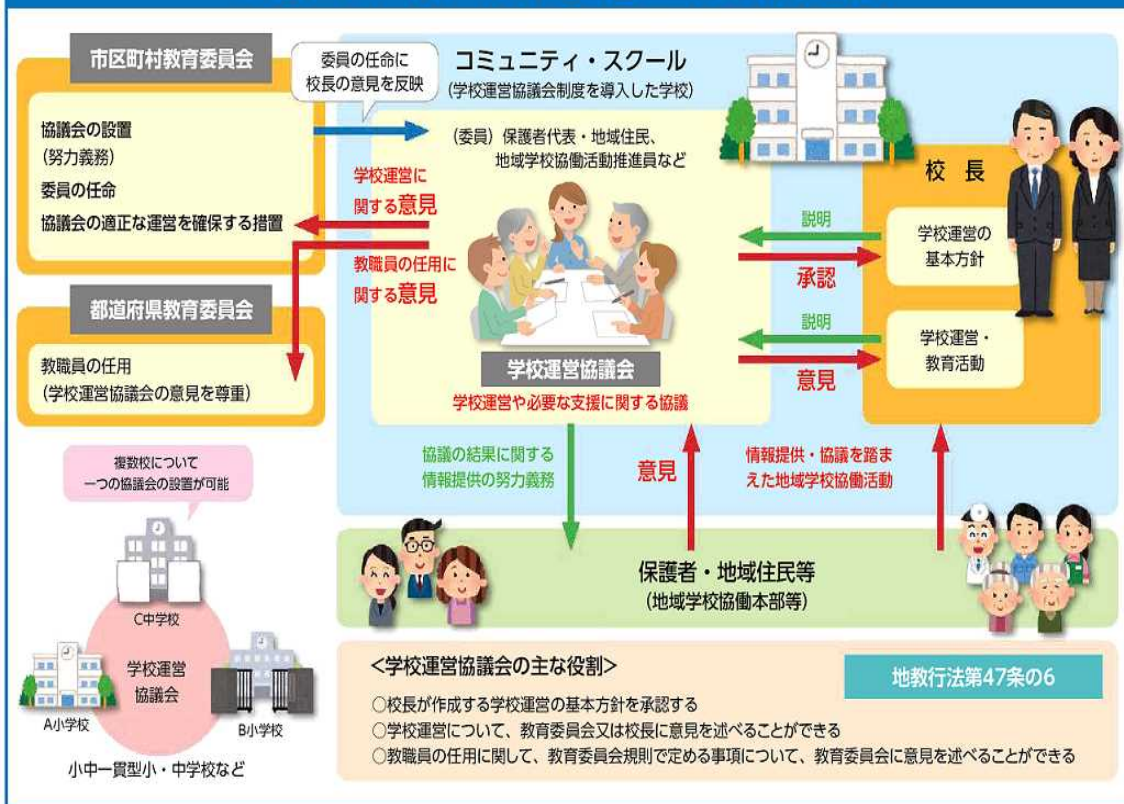
コミュニティ・スクール（学校運営協議会）がスタートします

コミュニティ・スクールは、学校と保護者や地域の皆さんがともに知恵を出し合い、一緒に協働しながら子どもたちの豊かな成長を支えていく「地域とともにある学校づくり」を進める仕組みです。コミュニティ・スクールには保護者や地域住民などから構成される学校運営協議会が設けられ、学校運営の基本方針を承認したり、教育活動などについて意見を述べたりといった取組が行われます。これらの活動を通じて、保護者や地域の皆さんの意見を学校運営に反映させることができます。

令和4年度の学校運営協議会委員の皆さんは次のとおりです。【敬称略・順不同】

福居 修 (元鳴門病院職員)	田村 豊 (人権福祉協議会会長)
大道賀代子 (民生委員・主任児童員)	岡田 章二 (黒崎地区自主防災会会長)
橋本 貴弘 (黒崎小学校 PTA 会長)	猪子 研司 (黒崎小学校教職員)
金森 利至 (黒崎小学校教職員)	吉岡 卓也 (黒崎小学校教職員)

コミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）の仕組み





まもなく梅雨入り？



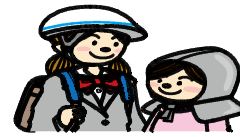
昨年度の梅雨入りは5月15日(土)でした。四国では平年より21日も早く、統計史上最も早い梅雨入りとなりました。さて、今年の梅雨入りはいつのなるのでしょうか？

日本語では雨の呼び方がたくさんあります。「梅雨」だけでも、「暴れ梅雨」「空梅雨」「早梅雨」「返り梅雨」「陽生梅雨」「陰性梅雨」など多くの呼び方があります。今年がどのような梅雨になるかは分かりませんが、雨の降り方を見てどのような呼び方が一番合っているか、お子様と一緒に考えてみるのも楽しいのではないのでしょうか。

梅雨の晴れ間には児童の楽しみにしているプールでの活動も予定されています。明日の天気を予想する力をつけたり、雨の日には室内で安全に過ごす方法を考えたりして梅雨の時期を乗り切ってほしいと思います。



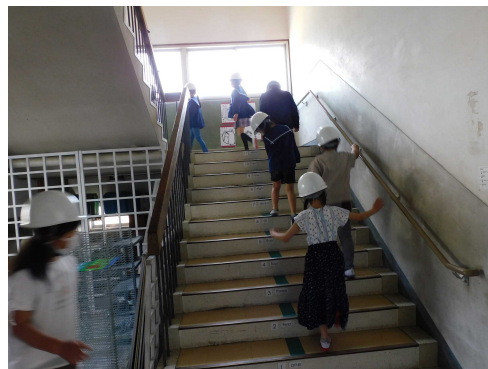
避難訓練を行いました



私たち大人にとって、2011年3月11日に起きた東日本大震災は、まだ記憶に新しいところです。しかし、小学生の子どもたちにとっては、6年生の児童以外は生まれる前の出来事、6年生の児童にとっても赤ちゃんの頃の出来事として、その恐ろしさは記憶に無いのだらうと思います。ニュース等の報道でもありますように、今後30年以内に南海トラフ巨大地震が発生する確率は約80%、40年以内には90%程度と、非常に高い数値になっています。いつ発生してもおかしくない状況です。



学校は、大切な子どもたちを預かっています。ですから、学校は子どもたちにとって何よりも安全・安心な場でなければなりません。そのために、万が一の災害に備えて避難訓練や防災学習に取り組んでいます。災害は、いつどこで遭遇するかわかりません。だからこそ、子どもたち自身も自分の命は自分で守れるようにしていくことが大切になります。



5月19日に、地震・津波を想定した避難訓練を行いました。どの子も、おしゃべりをしたりふざけたりすることもなく、真剣に避難することができました。

どのような時でも、自分で考え、判断し、行動できる力を身に付けさせていきたいと思っています。